

平成29年度事業計画

<要 旨>

「小さな親切」運動発足の翌年、昭和39年にアジア初となる東京オリンピックが開催された。その際、選手村で「小さな親切」実行章の推薦を呼びかけたところ、日本人・外国人併せて130名が実行章を受章。それから半世紀を過ぎ、2020年には2度目となる東京オリンピック・パラリンピックが開催される。“おもてなし”の心で外国の方々を迎えると世界にアピールし、また国内にもその機運の高まりが見える中、「小さな親切」運動として何をなすべきか。理事会内に「東京オリンピック・パラリンピック準備委員会」を設置し、検討を進めていく。

従来の活動としては、主要事業である実行章と作文コンクールを重点に、根幹となる部分の「蘇生」とさらに活動を広めるための新たな取り組みである「新生」に取り組む。

これを踏まえ、当該年度は次の「運動方針」と「重点活動」を策定した。

1. 平成29年度の運動方針

日本の美風の「蘇生」と「新生」

当該年度も継続して日本の美風の「蘇生」と「新生」に取り組む。

「小さな親切」運動を全国区へ

会員拡大や組織の全国化のみを意味するのではなく、広報活動等に力を注ぎ、全国的な運動であることを周知したり、実行章やクリーン大作戦においては他団体と協力し合いながら、「小さな親切」の精神をより多くの方々に伝えることを目指す。

2. 平成29年度重点活動

1) 「小さな親切」実行章

親切さんを発見し、「小さな親切」実行章を贈呈することで、親切実行者に感謝の気持ちを伝えると共に地域に思いやりの心の輪を広げようという活動で、中央本部の発足と同時に取り組んだ基幹事業である。当該年度は受章事例や推薦者の思い、また受章者の感想などさまざまな情報を収集して、地域組織はもちろん、広く一般に発信し、より多くの方が実行章を受章する機会を増やしていきたい。

2) 第42回「小さな親切」作文コンクール

「小さな親切」というテーマに沿った作文を書くことで、小中学生は心の奥底にあった親切を通して感じた感謝や感動、後悔を思い起こし、そして思いやりや親切の存在、その重要性を認識する。当該年度は、自分の心と向き合う機会をより多くの子どもたちに持ってもらうと、地域組織のない自治体、また組織があってもコンクールを開催していない自治体の教育委員会を通じて、作文コンクールへの参加をより広く呼びかける。

【公益目的事業 1】

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

- 情報紙『小さな親切』やホームページで実行章受章者の活動や推薦者の想いを積極的に紹介することで、日常生活の中に埋もれている親切の発見・推薦活動を促進する。

〔要 項〕	推薦方法	ホームページ、はがき、封書、FAX、メール等いずれも可 ※エクセルの推薦フォーマット有
	親切実行者	個人／氏名、住所、年齢（職業）、実行内容 団体／代表者氏名、住所、人数、実行内容
	推薦者	氏名、住所、電話番号
	推薦締め切り	毎月 25 日。土日に重なる場合は翌週月曜日
	受章決定	実行章選考委員会
	受章発表	推薦締切日の翌月 25 日
		実行章（賞状）は、翌月 20 日頃までに推薦者の希望先へ送付 ※早送りを希望する場合は、担当者に事前に連絡
	受章者名発表	ホームページ（ http://www.kindness.jp/ ）
	賞状の種類	1) 個人実行章 幼児～中学生 …子ども用賞状 高校生以上 …大人用賞状 2) 団体実行章 … 団体用賞状
	実行章バッジ	有料で頒布。1 個 135 円（税込・送料別）

- 当該年度の重点活動であることから、具体的な三つの目標を設定する。

1) 青少年の豊かな心をほめて育てる

「小さな親切」作文コンクール応募作品から、「わたしのした親切」を抜き出して、実行章の推薦案件とする支部があり、以下の点から有効であると考えられる。

- ① 作文コンクールでは入賞・入選に至らなかった児童生徒に「実行章」を贈呈することで、「した」行為を褒めるとともに、改めて他者を思いやる心を育成することができる。
- ② 地域組織が実行章の贈呈を行うことをきっかけに、地域組織と学校とのさらなるつながりを作ることができる。

以上の観点から、作文コンクール応募作品の中から、“わたしのした「小さな親切」”について書いた児童生徒に、「小さな親切」実行章を贈呈する。

2) 警察官、住民相互の推薦活動のさらなる活性化

当該年度は、警察と住民との相互の実行章推薦をさらに進めていくため、県警や警察署と連携した取り組みを行う県本部の情報、また警察の活動状況などを直接収集し、全国の地域組織に共有して、さらに活動を広めていきたい。

3) 実行章受章者のフォローアップ

「小さな親切」実行章受章者は 580 万人を超えたが、これまで贈呈以後に受章者にアプローチを行ったことはなかった。しかし、受章者の行動はそもそもが「小さな親切」運動の理念や活動と合致したものであるため、受章者は潜在的「小さな親切」運動の理解者とも言え、実際に受章者がさらに別の方を推薦するケースも多い。そこで当該年度は「小さな親切」運動のファン発掘、また最終的には会員獲得に向けて、「小さな親切」実行章受章者に受章時の感想、その後の行動の変化などにつ

いてアンケートを行い、データを蓄積してホームページ上などで発表すると共に、受章者の交流の場を設ける。
感想を寄せて下さった方には、さらに情報発信を進め、同時に実行章の推薦依頼なども行っていく。

2. 第42回「小さな親切」作文コンクール

- 昨年度に引き続き、特別テーマに「伝えたい日本のこころ ～外国の方との出会いを通して～」を設ける。
- ホームページの中で最も閲覧数が多いコンテンツが作文コンクールに関連するものであることから、応募数の拡大と運動の啓発に役立つようにコンテンツの内容を充実させる。また、外部投稿サイト等へも応募要項を掲載し、応募数の拡大に努める。
- 当該年度は、実行章とタイアップして作文コンクールの応募作文の中から“わたしのした「小さな親切」”をテーマに作文を書いた児童生徒に、実行章を贈呈する。作文コンクールの審査と並行して、実行章への推薦案件となる作文も選考してもらえよう、地域組織に協力を依頼。中央本部での審査時にも選考を行う。

〔要 項〕	後 援	内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社
	協 賛	カシオ計算機㈱ ㈱サクラクレパス
	テ — マ	私のした・うけた・みた・できなかった「小さな親切」
	特別テーマ	伝えたい日本のこころ ～外国の方との出会いを通して～
	対 象	小学生・中学生（小中学生と同じ学齢のものを含む）
	応募方法	1) 400字詰め原稿用紙3枚（1200字）以内。題名・氏名（ふりがな）・学年・性別・学校名・学校住所を明記。なお、地域組織・学校でまとめて応募する場合は、応募添付書に学校名・学校住所を記入するのみで可。 2) 地域組織・学校でまとめて応募する場合は、必ず選考した上で、上位作品（コンクール開催地域は賞名を明記）を中央本部へ郵送。
	締め切り	平成29年9月22日（金）必着
	要項・入賞発表	毎日新聞・教育新聞・情報誌『小さな親切』・ホームページ等
	審 査 会	平成29年10月24日（火）予定
		※審査手順：第1次審査、第2次審査、作文審査員審査会
	賞	入賞・入選者 130名
		内閣総理大臣賞 1名
		文部科学大臣賞 1名
		「小さな親切」運動本部賞 2名（小・中各 1名）
		特別優秀賞 6名（小・中各 3名）
		優秀賞 20名（小・中各 10名）
		入 選 100名（小・中各 50名）
	副 賞	メダル、デジタルカメラ、電波時計、文房具等
	表 彰 式	平成29年11月25日（土） 全国表彰式席上

〔作製物〕 ポスター5,500部 要項8,500部

3. 青少年すこやか育成事業 <（公財）JKA 補助事業>

- 新たな取り組みをスタート。これまで小学生を対象に紙芝居授業や工作教室、紙芝居上演を行ってきたが、親切な心を育むには幼児からとの声を受け、幼児向けのプログラム開発に向け幼児教育専門家へのヒアリング等調査を行い、方向性を検討する。

- 専用ホームページに新しいコンテンツを追加。紙芝居授業に対する海外からの問い合わせを受け、紙芝居の英訳や災害に際しての「減災」という考え方を紹介していく。

〔要 項〕

- 1) 被災地域向け : ①工作ワークショップ 講師：有賀 忍 (板絵画家)
②声優による紙芝居上演 演者未定
実施校数は2校程度を予定
被災地域外向け：新作紙芝居『まつりのひ』を用いた紙芝居授業の実施
講師：馬場喜久雄 (全国小学校道徳教育研究会顧問)
宮島 盛隆 (済美教育センター指導教授・白百合女子大学講師)
実施校数は2校程度を予定
- 2) 幼児教育プログラム制作に対する検討・準備
- 3) 専用ホームページを活用した教育活動

4. みんなつながる、トモダチ作戦

- あいさつ運動推進グッズ (たすき・のぼり・ポスター・活動事例集) は無料で提供。
- グッズの問い合わせが増加。「あいさつ運動」のキーワードで各種検索エンジンで検索を行うと、当該事業が上位にヒットしており、影響力も大きいと考えられることから、地域組織と連携し、学校や団体の参考になる活動を収集・発信する。

〔要 項〕

推進グッズの提供

対 象	学校、企業、団体、その他地域
時 期	通年 (平成 29 年 4 月から、実施時期は各団体に一任)
内 容	1 団体につき、たすき 10 枚・のぼり 3 枚・ポスター 2 種・4 枚程度 (のぼりにはポール、スタンドはつかない)

5. ことばの魔法プロジェクト

1) 第 3 3 回「小さな親切」はがきキャンペーン

- これまで、7 月 23 日「ふみづき ふみのひ」を中心に募集していたが、応募拡大を目指し募集開始を 4 月スタートに変更する。
- 各種媒体を活用した応募告知の回数を増やし、応募数の増加をはかる。

〔要 項〕	後 援	日本郵便(株) 読売新聞社
	協 賛	(株)河出書房新社
	テ ー マ	1) 心から伝えたいありがとう 2) 「やだな！」自分だったら…
	対 象	子どもから大人まで
	応募方法	・はがきで応募 (600 字以内) ・専用フォーム、メールで応募 (600 字以内) ※タイトル・住所・氏名・年齢・職業 (学校名)・TEL を明記
	要項発表	読売新聞、公募ガイド、情報誌『小さな親切』、ホームページ等
	締め切り	平成 29 年 9 月 7 日 (木) 当日消印有効
	審査会	平成 29 年 10 月 3 日 (火) 予定 審査員：5 名 (日本郵便(株)ほか)
	入賞発表	情報誌『小さな親切』、ホームページ

賞	入賞・入選者 25名
	大賞 日本郵便賞 1名
	「小さな親切」運動本部賞 1名
	読売新聞社賞 1名
	河出書房新社賞 1名
	ハートフル賞 1名
	入選 20名
副賞	上位賞：切手帳・図書カード・高級文具 入選：図書カード・書籍・文具
表彰式	平成29年11月25日（土） 全国表彰式席上
〔作製物〕 要項	11,000部

6. 平成29年度「小さな親切」運動全国表彰式

- 全国から参加する作文コンクール・はがきキャンペーンの入賞・入選者の多くは運動を知らないことから、全国表彰式を単なる表彰の場とするのではなく、運動を体感してもらう機会ととらえ式典運営や配布資料などを工夫する。

〔要項〕	後援	内閣府 文部科学省 NHK
	日時	平成29年11月25日（土） 12:30～15:30
	会場	東京・霞が関ビル 35階 東海大学校友会館
	参加者	約300名
	プログラム	司会：NHKアナウンサー
	〈第1部〉	
		主催者あいさつ
		来賓あいさつ
	表彰	内閣官房長官賞 「小さな親切」運動大賞 「小さな親切」運動賞（団体の部・個人の部） 第33回はがきキャンペーン 第42回作文コンクール 大臣賞作品
	作文朗読	
	〈第2部〉	
	賛助出演	（有）ケッケコーポレーションの声優さん／予定
	閉会あいさつ	

〔表彰者の推薦と決定〕

賞	・内閣官房長官賞 5名予定
	・「小さな親切」運動大賞 1団体
	・「小さな親切」運動賞（2種類／団体の部・個人の部） 5名予定
依頼方法	4月、事務局通信No.1にて道府県本部・市町村支部に推薦を依頼
締め切り	平成29年8月25日（金）
表彰決定	平成29年9月22日（金） 第33回理事会
	※内閣官房長官賞は内閣への推薦候補者の決定で、本決定は内閣府より10月中旬頃を予定

7. 「小さな親切」誌の刊行 <（一財）日本宝くじ協会助成事業>

- 会員減少及び寄贈先の見直しを行い、発行部数を1回あたり2,000部、年間のべ8,000部減

部する。

- 情報紙とはいえ現状では会員向けの内容が多いことから、読者の年齢層や性別等ターゲットの見直し、情報誌として世相を反映した親切考など掲載内容の充実を図る。

〔季刊発行〕 年4回（春号5月・夏号8月・秋号11月・新春号1月）

〔発行部数〕 1回あたり約33,000部 年間延べ132,000部

8. 地域の輪・和・環プロジェクト（車椅子寄贈運動）

- 事業終了3ヶ年計画の最終年を迎え、当該年度をもって車椅子寄贈を終了する。
- 事業は終了するが、今後は地域組織が自費購入で車椅子を購入し寄贈を続けることは可。運動本部としては、自費購入にどのように対応するかを検討する。

〔要 項〕 寄贈台数 車いす 35 台

寄贈先 全国 35 ヲ所の社会福祉施設等

種 類 ①BAL-1（アルミ製）シートカラーはブルー
自走式／介助ブレーキ（ドラム式）／背折れタイプ

②希望組織のみ、有料でプレート1枚を貼付

文面：「地域の輪・和・環プロジェクト」

公益社団法人「小さな親切」運動本部

－ 道府県本部・市町村支部 －

展開方法 ①前年度2月、各地域組織への車椅子割り当て台数を決定。自費購入を希望する場合は、5月19日（金）までに中央本部へ申し込む。

②各地域組織は、7月中旬までに寄贈先を決定し、送付先、到着希望日を中央本部に連絡する。

③贈呈期間は平成29年10月1日（日）～10月31日（火）

活動報告 車椅子贈呈後、任意で随時報告書（新聞記事や写真を添付）を提出。中央本部では情報誌『小さな親切』やホームページで活動を紹介する。

9. 日本列島クリーン大作戦（35回目）

- ごみ拾いを通して「ごみを捨てない心を育てる」活動であることを、より一層周知徹底する。
- 日本たばこ産業（株）より提示された予算（平成28年度とほぼ同額）内で、地域組織からの希望数を加味してごみ袋の種類と数量を確定。4月中に発送する。

〔要 項〕 後 援 内閣府、文部科学省、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁

協 賛 日本たばこ産業株式会社、コカ・コーラ協会、（公社）食品容器環境美化協会
スチール缶リサイクル協会、（公財）日本環境協会、日本石鹼洗剤工業会

スローガン 美しい日本、美しい心

期 間 平成29年4月1日（土）～平成30年2月28日（火）

ごみ袋 172,795部／内訳：可燃用300 45,025部・不燃用300 52,070部・手提120 75,700部
＜ごみ袋協力：日本たばこ産業株式会社＞

〔作製物〕 ポスター 1,700部

10. 日本列島コスモス作戦（29回目） <協力：タキイ種苗（株）>

- コスモス種子袋（名入れ印刷の有無含む）及び種子（dℓ・ℓ）の斡旋と代金の請求を行う。

- 当該年度より種子の協力をタキイ種苗（株）に変更し、種子の品質管理及び納品数の確認等万全を期す。なお、タキイ種苗（株）より準備に時間的余裕が必要との申し出があり、当該年度は購入希望数を把握するアンケートを早くとった。

〔要 項〕	アンケート	コスモス種子袋及び種子の購入希望数を地域組織にアンケート。回答締切日は平成 29 年 1 月 13 日（金）。なお、種子袋の余白印刷申込の回答締切日は平成 28 年 12 月 20 日（火）。
発 注	価 格	希望数を集計し、中央本部よりタキイ種苗（株）に発注。
	①種子袋	1 袋 11.9 円（税込）
		※当該年度は注文数が減少したことから、1 袋単価が値上がりした。
	②種 子	1 0 523 円 / 1 d 5, 225 円（税込）
発 送		タキイ種苗（株）より証票を同封し 4 月中旬に発送。
代金請求と入金		中央本部から 5 月中旬請求。5 月末日までに入金。

11. 使用済み切手等寄贈

- プリペイドカード、未使用はがきを扱う団体が減少していることから、当該事業名を「使用済み切手等寄贈」に変更。
- 協力者氏名をホームページに掲載。

〔寄贈先 3 団体〕

（公財）ジョイセフ	／使用済み切手
（公社）日本キリスト教医療協会	／使用済み切手
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	／使用済みプリペイドカード

12. 推進事業

1) 各地域の親切運動支援

- 地域に根差した公益目的事業 1 を展開している各地域組織に、事業推進のための地方活動助成費を交付するほか、会議を開催し基本方針や新事業を説明したり、表敬訪問・講師派遣等を行う。

- 地方活動助成費の交付（平成 28 年度会費収入の 12%） / 平成 29 年 6 月 9 日（金）
- 全国県本部事務局長会議
日時：平成 30 年 2 月 16 日（金）予定
会場：東京・ベルサール飯田橋 2 階会議室
- 地域組織の各種会合への講師派遣、会議出席等

2) 各種パンフレット、ポスター等の作製

- 基本資料：基本パンフレット、三つ折りしおり、八か条カード・実行章パンフレット
- 作品集（第 42 回作文コンクール・第 33 回はがきキャンペーン合併版） 4, 000 部
- 文房具：蛍光ペン、クリアファイル
- 会員証（個人、団体、学校）、法人会員楯、会員バッジ、実行章バッジ

【広報活動】

1. ホームページ、SNS、動画サイトからの情報発信

- ホームページ、SNS、動画サイトを通じた運動の情報発信／公式サイト、Facebook、YouTube
- ホームページでは、閲覧の多い「作文コンクール」関連ページを充実させるほか、ユーザーである小中学生の保護者、中学生、教師のニーズに基づいたコンテンツを作成し、「作文」ページから誘導。運動のファン層の拡大につなげる。
 - 実行章の推薦内容や活用事例を多数掲載するほか、推薦に基づいて動画を編集してYou Tubeにも積極的にアップし、若年層などの新たな推薦につなげる。

2. メディアへの情報提供

メディアへの情報発信や、地域組織等への協力依頼

- 地方紙やローカルテレビへの情報発信は、現状では県本部・支部に一任。地域組織が取り組む活動の情報が中心となっているため、中央本部としてはニュースレターや活動レポートなどを通じて、運動の全体像を発信し、さらなる周知に努めたい。
- 重点事業に関連する情報についてはプレスリリースを行う。

【寄 附】

会員の有無を問わず、広く「小さな親切」運動への理解を深め、「小さな親切」運動及び各種事業から選択した事業への寄附を呼びかける。

【災害見舞金】

大規模な災害に対し適宜見舞金の募集を行い、被災地に贈る。